



Go Conference 2023

# TinyGo で作る自作キーボードの世界

---

2023/06/02

---

Masaaki Takasago

# # お前だれよ？

- Name: `Masaaki Takasago`
- Go、TinyGo、Perl、C
- Twitter: @sago35tk
- Github: sago35
- 車載組込ソフトエンジニア
  - ISO11898 (CAN)、ISO15765-2、ISO14229
- TinyGo の中の人 (2020/08/19 ~)
- Umeda.go、kansai.pm、Perl 入学式 in 大阪
- 「基礎から学ぶ TinyGoの組込み開発」の著者





- エディタを選ばない
- シングルバイナリで配布しやすい
- Windows でも非同期プログラム書きやすい
- シンプルな構文
- `gopls` / `gofmt` / `goimports`
- Gopher かわいい
- マイコン遊びが出来る
- 自作キーボードが作れる！ ← **NEW**



## 今日の内容

- PR
- TinyGo とは
- TinyGo の最新ニュース
- 自作キーボードとは
- TinyGo で作った自作キーボード
- TinyGo で USB HID Keyboard を作る



# 「基礎から学ぶ TinyGoの組み込み開発」好評発売中！



- 国内での TinyGo の技術書としては初
- 想定するメインターゲット
  - Go 経験済み＋組み込み未経験
  - Go 未経験 ＋組み込み経験済み
- Go 未経験でも大丈夫
  - 3章で Go の基本をコンパクトに解説
    - unsafe と cgo に 15 ページ
- 組み込み未経験でも大丈夫
  - 5章以降、順番に試していくと良い
  - **P.178 USB HID を見るとキーボードを作ることが出来ます！**

66ページ



マイコン「Wio Terminal」を使った

実践的な組み込み開発で TinyGoの知識が身に付く！

<p><b>TinyGo</b> って？</p> <p>組み込みシステムやWeb Assemblyのために開発されたGo言語のコンパイラ。軽量なので幅広い環境でGoが活用できる。</p>	<p>Goによる組み込み開発のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C言語の経験が不要</li> <li>・goroutineとchannelを用いた並行処理がマイコンでそのまま動く</li> <li>・LSPサポートによりコードが読みやすい…など</li> </ul>	<p>こんな方におすすめです！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Goは経験しているが組み込み開発の経験はない方</li> <li>・組み込み開発は経験しているがGoの経験はない方</li> </ul>
---	---	--

### 本書で学べる内容

Chapter1-7で TinyGoでの組み込み開発に必要な知識を丁寧に解説！

Chapter8ではアプリケーションを開発し、Wio Terminal上で実際に動かします！

Wio Terminal Tracker

Gopher編み

Wio Terminalで取付した角度情報をを使ってPC上の画像を制御します

画面とボタンを使ってアプリケーションをパソコン上で開発。その後、Wio Terminal上で動かします。





## What is TinyGo exactly?

A new compiler and a new runtime implementation.

Specifically:

- A new compiler using (mostly) the standard library to parse Go programs and using LLVM to optimize the code and generate machine code for the target architecture.
- A new runtime library that implements some compiler intrinsics, like a memory allocator, a scheduler, and operations on strings. Also, some packages that are strongly connected to the runtime like the `sync` package and the `reflect` package have been or will be re-implemented for use with this new compiler.

<https://tinygo.org/docs/concepts/faq/what-is-tinygo/>



# TinyGo はこんなことができます



<https://twitter.com/sago35tk/status/1663934219566084096?s=20>



# TinyGo の 最新 (?) ニュース



- encoding/json は現時点でほぼ動く (例 →)
  - TinyGo 0.28 で使えるようになるはず
  - これは reflect package サポートの改善による結果 (というか、実際は encoding/json サポートのために reflect サポートを改善している感じかな？)



**Damian Gryski**  
@dgryski

Yes this means TinyGo is getting reflect support. I've done enough that encoding/json can now decode responses from the GitHub API.



**syumai** ✓ @\_syumai · 3月13日

TinyGoがreflectサポート、アツすぎる。encoding/json動くようになったら嬉しいのでWasmでかなりまともに使えるようになったのでは

```
// https://mholt.github.io/json-to-go/  
type AutoGenerated struct {  
    CreatedAt string `json:"created_at"`  
    IDStr      string `json:"id_str"`  
    Text       string `json:"text"`  
    User       User   `json:"user"`  
    Place      Place `json:"place"`  
    Entities   Entities `json:"entities"`  
}  
type User struct {  
    ID          int64 `json:"id"`  
    Name        string `json:"name"`  
    ScreenName string `json:"screen_name"`  
    Location    string `json:"location"`  
    URL         string `json:"url"`  
    Description string `json:"description"`  
}  
type Place struct {  
}  
type Unwound struct {  
    URL string `json:"url"`  
    Title string `json:"title"`  
}  
type Urls struct {  
    URL string `json:"url"`  
    Unwound Unwound `json:"unwound"`  
}  
type Entities struct {  
    Hashtags []any `json:"hashtags"`  
    Urls []Urls `json:"urls"`  
    UserMentions []any `json:"user_mentions"`  
}
```

コード例はこちら → <https://gist.github.com/sago35/ba591a798dec789eb9450104ccd529ec>



- encoding/json が動く TinyGo 0.28 のリリースは近い
  - 残るブロッカーは reflect.MethodByName()



**takasago@TinyGo本好評発売中** @sago35tk · 51分

...

Go Conference 2023 までに TinyGo 0.28 がリリースされるっぽい、と言ったが、あれは嘘だ。残り2つの Issue がブロックしてる感じ。さてはて。



**takasago@TinyGo本好評発売中** @sago35tk · 5月22日

TinyGo 0.28 がまもなくリリースされる雰囲気を感じる。Go Conference 2023 までにはリリースされるっぽいので、そういう感じの資料作りにはしておこう、って感じを感じる。多分。



- machine.Flash 経由で以下などが使える
  - io.ReadAt / io.WriteAt
  - EraseBlocks(start, len int64) error
- 自作キーボードの **キーマップ保存など** に使える！
- 書込先は Flash なので 1 → 0 にはできるが逆はできない
  - 書込は Erase (All 1 になる) してから使う必要あり
  - 現状、Read / Write はアドレス指定だが Erase はブロック指定なので微妙に使いにくい

↓コード例はこちら↓

<https://github.com/tinygo-org/tinygo/blob/3142a53f40cfc48fccf554e2be874c363032b3f/src/examples/flash/main.go>



# 自作キーボードとは



諸説ある気がしますが、ここでは以下の定義とします

- パソコン等からキーボードとして認識する
- キースイッチ／キーキャップを好きなものを選ぶ
- ファームウェアを自分で開発できる ← **重要**



キースイッチの例



キーキャップの例



- 実は自作キーボードは触ったことが無い
- TinyGo 0.24 で USB HID 対応を追加したのでなんとなく
  - 書籍執筆を終え、TinyGo をより楽しむために try



takasago@TinyGo本好評発売中 @sago35tk · 2022年11月29日 ...  
初めての自作キーボード、出来てきた。というか、だいたい出来た。  
TinyGo + XIAO BLE で作った。同時押しもそれぞれ6キーまで押せるので、問題なさそう。



1 作目 : sgkb-0.1.0



2 作目 : sgkb-0.2.0



## 自作キーボード、どれぐらいの金額？



キー数が少なければ安いし、多ければ高い。ピンキリですが例えば、、、

- 72 keys の sgkb-0.2.0 の場合 : 約 11,000 円
  - スイッチ + キャップ + ダイオード \* 72 : 7000 円
  - 基板 : 2,000 円~
  - マイコン : 830 円 \* 2 = 1,660 円
  - TRRS コネクタ + TRRS ケーブル : 800 円

※ケースや LEDなどを足していくとさらに (略)

※ただし、パーツの再利用はある程度効く



# TinyGo で作った 自作キーボード



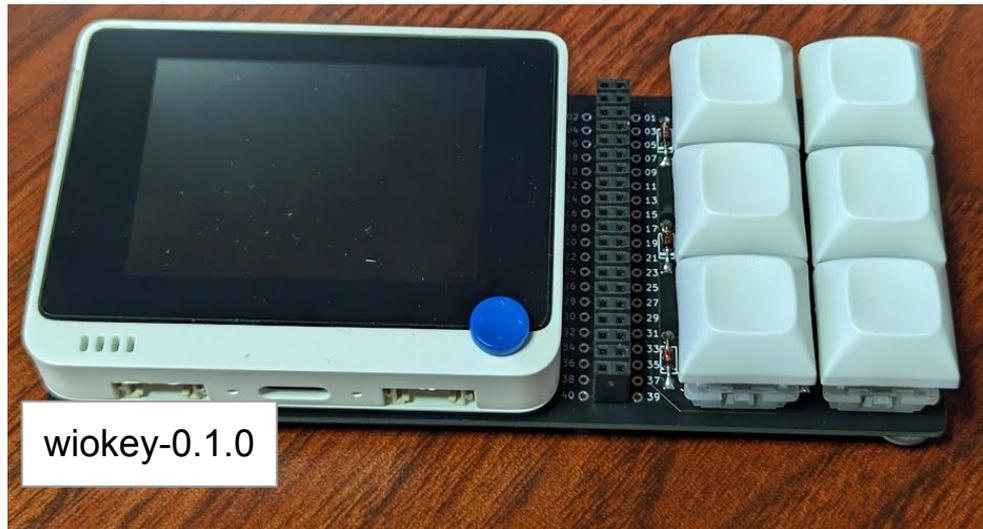
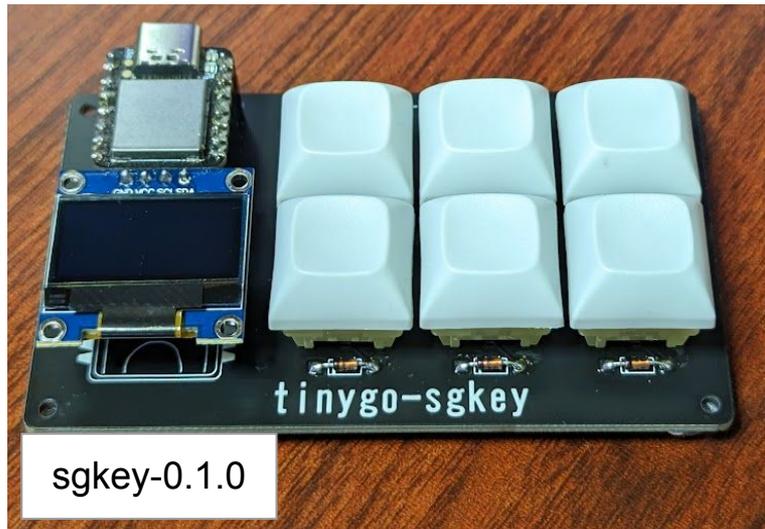
雰囲気基板設計したキーボード  
分割キーボードとしても自作キーボードとしても初挑戦



<https://github.com/sago35/tinygo-keyboard/tree/main/targets/sgkb>



## TinyGo で自作キーボード入門しやすいように作成



<https://github.com/sago35/tinygo-keyboard/tree/main/targets/wiokey>

<https://github.com/sago35/tinygo-keyboard/tree/main/targets/sgkey>



職場の人の要望で作成した 10 キー  
使っている業務システムに必要なキーを一纏めに



<https://github.com/sago35/tinygo-keyboard/tree/main/targets/fric10key>



# TinyGo で USB HID Keyboard を 作る



```
package main
```

```
import (
```

```
    "machine/usb/hid/keyboard"
```

Import で USB HID Keyboard として認識

```
    "time"
```

```
)
```

```
func main() {
```

```
    kb := keyboard.Port()
```

Keyboard アクセス用の port を取得

```
    time.Sleep(5 * time.Second)
```

```
    kb.Press(keyboard.KeyK)
```

Press により `K` キーを押して離す

```
}
```



# BUTTON に連動させたキーボード



① キーを受け取る変数を定義

② keyboard のインスタンス的なモノを作る

③ ボタンに連動して `K` キーを押す

```
package main

import (
    "machine"
    "machine/usb/hid/keyboard"
    "time"
)

func main() {
    button := machine.BUTTON
    button.Configure(machine.PinConfig{
        Mode: machine.PinInputPullup,
    })

    kb := keyboard.Port()

    for {
        if !button.Get() {
            kb.Down(keyboard.KeyK)
        } else {
            kb.Up(keyboard.KeyK)
        }
        time.Sleep(32 * time.Millisecond)
    }
}
```



## TinyGo で自作キーボードを作ってみた

◆ Go, 自作キーボード, tinygo

これは [モダン言語によるペアメタル組込み開発 Advent Calendar 2022 14日目の記事](#)です。

この記事では、TinyGo で作った自作キーボードを紹介していきます。



<https://qiita.com/sago35/items/c47af868178469268dd4>



## 本日 Go Conference 2023 でハンズオンを実施しました

このページは 2023/06/02 に開催される Go Conference 2023 内の TinyGo で自作キーボードを作るハンズオン用の記事です。不明点は、このリポジトリの Issue や [twitter:sago35tk](https://twitter.com/sago35tk) で質問いただければサポートします。Twitter のハッシュタグは [#gocon](https://twitter.com/hashtag/gocon) および [#tinygo](https://twitter.com/hashtag/tinygo) です。

### 環境設定 / 参加に必要なもの

#### TinyGo のインストール

以下のインストールが必要です。TinyGo については、このページの記入時点の最新版である v0.27.0 の URL を記載しましたが、このハンズオンでは後述する dev branch 版 (開発最新版) を使うことを推奨します。

<https://github.com/sago35/tinygo-workshop-keyboard>



## 今日の内容

- 自作キーボード作るのが楽しいよ
- TinyGo で簡単に作れるよ

TinyGo プロジェクトはまだまだ発展途上です。コントリビュート大歓迎です。コントリビュートに向けて、あるいは TinyGo の分からない点等は、[twitter : @sago35tk](https://twitter.com/sago35tk) に聞いていただければサポート可能です。



## - English

- <https://tinygo.org/>
- [Creative DIY Microcontroller Projects with TinyGo and WebAssembly](#)
- [github.com/sago35/tinygo-keyboard](https://github.com/sago35/tinygo-keyboard)

## - Japanese

- [TinyGoでIoTを始めよう](#) (umeda.go 2019 Spring)
- [TinyGoで組み込み開発を始めよう!!](#) (umeda.go 2019 Autumn)
- [TinyGo で組込開発を始めよう!! 0.14 ver](#) (umeda.go 2020 online)
- [Wio Terminal で TinyGo プログラミングを始めよう](#)
- [TinyGo 0.27 で遊べるマイコンボード一覧 - sago35の日記](#)
- [TinyGo ハンズオン - Go で Lチカから応用まで](#) (Go Conference 2021 Autumn)
- [「基礎から学ぶ TinyGoの組み込み開発」を書きました](#)
- [TinyGo で自作キーボードを作ってみた](#)